

港湾病院にかかる今後の取り組みについて

港湾病院では、平成 17 年 4 月の新病院への移行に向けて、安全で適切な医療提供を最優先するとともに、入院患者の動向を見極め、円滑な引継業務や効率的な病院運営を行ってまいります。既に 4 月には、入院患者数の動向を踏まえて病棟の再編(6 病棟から 5 病棟へ)を行いました。また、本年 9 月以降の産科分娩予約は受入れを中止し、他の市立病院等への紹介を行っております。今後も引き続き、入院機能の集約化に伴う段階的な病棟の再編や、救急診療体制の縮小などを図ってまいります。

1 入院診療について

- (1) 本年 9 月の産科分娩予約の中止に伴い、産婦人科病棟(西 2 階)の集約化により、5 病棟から 4 病棟への再編を行います。また、10 月には入院患者数の動向を踏まえ、3 病棟への再編を行います。(一日平均入院患者数 H16.3/183.3 人、H16.7/135.9 人)
- (2) 新病院への移行にあたっては、安全管理の観点から新病院へ移送する入院患者を減らしていく必要があることや、患者カルテの引継ぎ等の移行業務に対応していくために、来年 1 月以降は、新規入院患者については原則として他の市立病院等への紹介を行い、手術に関しては入院患者の緊急手術のみに対応することとします。また、入院患者数の動向に見合った病棟の再編を検討します。

2 外来診療について

- (1) 外来診療に関しては、原則として従来どおりの対応を行います。ただし、外来患者数の動向を考慮しながら、外来診療の一部縮小などを行う場合があります。
- (2) 閉院間際には、安全な入院患者の移送、円滑な引継のために外来診療の休診日を設けることを検討します。

3 救急診療について

9 月以降、救急搬送患者への医療提供に十分な配慮をするため、2 次救急輪番を辞退いたします。なお、時間外の新患者については、今後の状況を踏まえて対応してまいります。

4 職員の配置について

医師等の退職については、横浜市立大学などからの非常勤医師の応援を依頼するなど、基本的な診療機能を維持していくよう努めます。また、病棟の再編などに伴い、看護職員等については、他の市立病院などへの配置換え等を行うことについて調整を図ります。

5 新病院の開院準備について

現在、衛生局、港湾病院、日本赤十字社が連携し、「現港湾病院」では、患者の安全・安心を最優先するなかで、円滑な閉院に向けた取り組みを行っており、「新病院」については、患者情報の引継ぎや医療機器の移設等について調整を図るなどの開院準備を進めています。

(1) 主な内容

現港湾病院患者の引継ぎや医療機器の移設などに関しては、6つのワーキンググループを設置して、具体的な検討、引継ぎを行っています。

病院施設関係では、現在、新病院サイン工事の詳細調整を実施しています。

広報関係では、中区民、磯子区民を対象に7月25日(日)、26日(月)、28日(水)の3日間で行った新病院見学会で1,263人の参加がありました。

(2) 日本赤十字社の開院準備状況

平成17年4月の開院に向け、横浜赤十字病院内に19の委員会を設けて、人材確保、電子カルテの導入、医療機器の整備などについて準備を進めています。また、政策的医療の詳細についても検討を進めています。